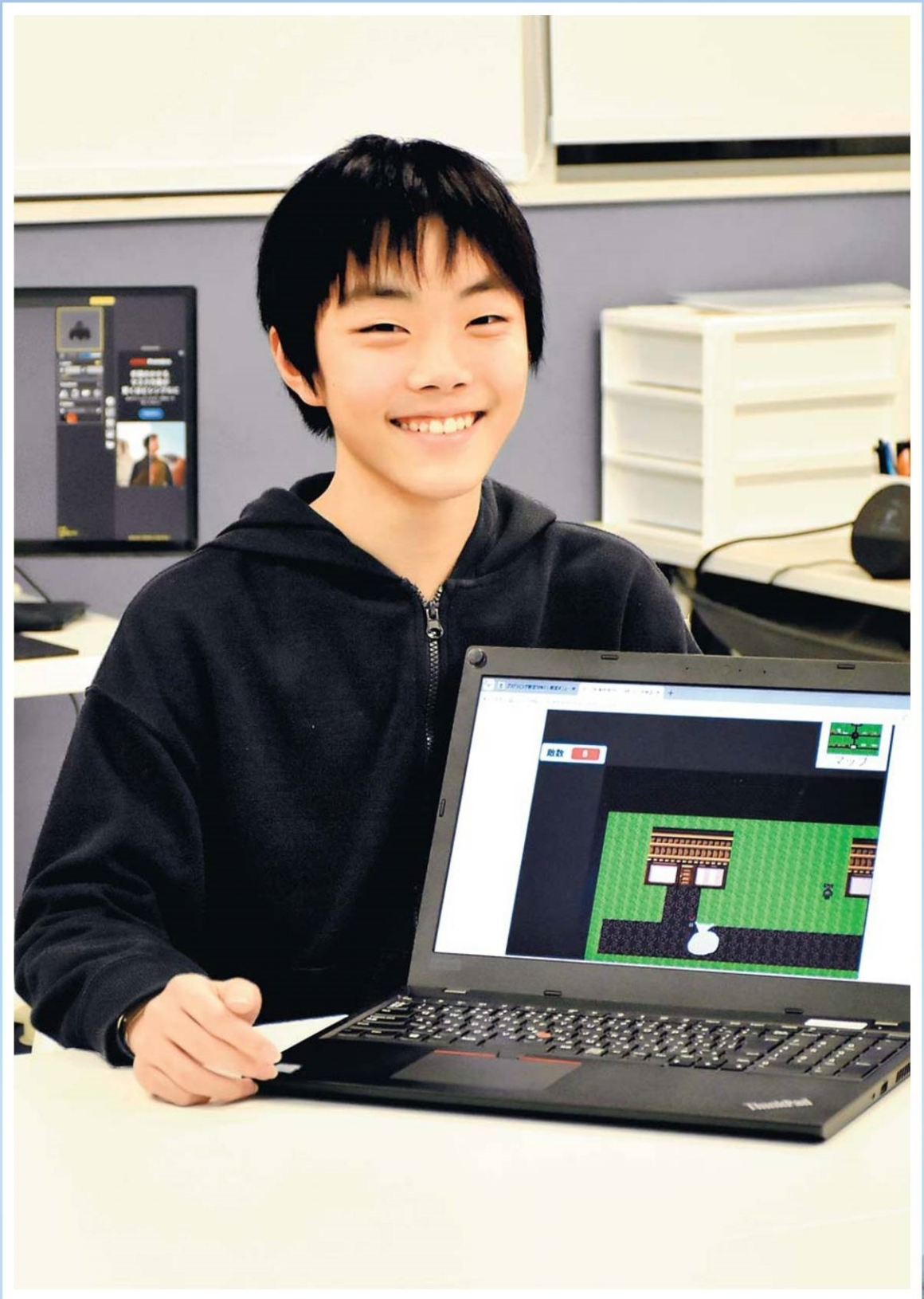




独自に開発したアプリなどの出来栄を競う「全国選抜小学生プログラミング大会」(3月、東京)に県代表として出る松山市荏原小学校6年北林織さん(12)。ごみ拾いのロールプレイングゲームを手がけた。「いろんなアイデアに刺激を受けた」と全国大会を楽しみにしています。

ゲームが好きで、5年生から独学でプログラミングを学び始めました。自作のミニゲームを友達に面白がってくれたのがうれしく、本格的に勉強しようとして6年生から市内のプログラミング教室TINOに通っています。昨秋の県大会で最優秀賞に輝いた作品「クリーンロボシティ」は、掃除用ロボットがごみ拾いで得た「体力」で

## きたばやし 北林 織さん(12) = まつやまし 松山市



戦うゲーム。子ども向けプログラミング言語「スクラッチ」で変数や乱数を管理し、柔軟で複雑な動きを作りました。「ロボットの動きに連動して、マップや敵の位置を動かすのが難しかった」ところ。募集チーム「みんなのまらい」に沿って、遊びながら環境に優しい行動を学べるよ

う、食品ロス削減やリサイクルの豆知識をゲームに盛り込みました。音楽も自作です。制作に約2カ月かかりました。県大会では発想力や3分間のプレゼンテーションが審査され、最終審査通過者5人の頂点に立ちました。「まさか優勝できるとは思わず、めちゃくちゃうれしいです。自

信になりました」。全国大会に向けて改良を重ねています。「プログラマーになって、みんなが楽しめるゲームを作りたい」。今回の挑戦で、夢が一層明確になったという北林さん。実現へ、英語のプログラムも学びたいと意欲を語りました。

(豊田さやか)

### プログラミング教室

TINO教室長



大西 航暉さん  
思い描くものがで  
きるまで粘り強く  
修正してきました。  
細部へのこだわりも  
脱帽です。楽しみなが  
ら前向きに学ぶ姿勢  
は、将来どんな道に  
進んでも役立ちます。  
貪欲に知識を深めてい  
きましょう。

# プログラミング全国大会楽しみ

## ぼしゅう 頑張るジュニア集まれ

「HOPE」は、スポーツや趣味、ボランティアに一生懸命取り組んでいたり、すごい特技を

持っていたりする県内の小中学生を紹介しま  
す。たくさんの「キララジュニア」からの応募  
を待っています。家族や友達からの推薦も歓迎しま  
す。

応募、問い合わせは愛媛新聞生活文化部ジュニア  
えひめ新聞担当＝電話089(935)2247、またはメ  
ール＝smilepinto@ehime-np.co.jp